

ファシリテーター・ワークショップ ファシリテーター・トレーニングC

-ファシリテーターに関する理論と実習の基礎的な講座

担当者	山口 真人（南山大学人文学部心理人間学科教授） 池住 義憲（南山大学非常勤講師）
概要	<p>「ファシリテーター」とは、学習者が自ら考え、学び、決定し、行動することを促進する人です。教育の分野では「生きる力」を育むことを目的とした総合的な学習の導入を契機として、これまでの座学的な“教える”教育から、自ら“学ぶ”教育への転換が重要視されています。また、国際協力の分野では、ブラジルの教育学者フレイレや、国際協力における参加型開発の提唱者チェンバースなどの多くの人が、先進国の専門家が自らの技術を教えるのではなく、地域住民がエンバワーメントしていく過程を専門家が促進していく、ファシリテーターとして関わることの重要性を指摘しています。</p> <p>様々な領域においてファシリテーターとして機能するためには、2つの態度が重要になってきます。1つは、ファシリテーターとしての教育者の態度、すなわち、学習者が発見し、自ら学ぶことを“促進する”役割としてのファシリテーターの態度です。もう1つは、グループ・ファシリテーターとしての態度、すなわち、学習者やメンバーが何らかの活動を行う際に、グループの人間関係を“促進する”機能を果たすファシリテーターの態度です。</p> <p>この講座では、ファシリテーターについて、理論と実習から学んでいきます。第1日目は「ファシリテーターとしての教育者」について主に焦点を当て、第2日目は「グループ・ファシリテーター」について主に焦点を当てる予定です。</p> <p>学校関係者、国際協力従事者、企業の研修担当の方、地域開発や地域運動・NPO活動を行っている方、自然教育や環境教育の分野の方、など、ファシリテーターとしての態度や関わり方にご関心をお持ちの方々に最適です。</p> <p>当センターでのファシリテーター・トレーニングの位置付けは以下の通りです。</p> <p>ファシリテーター・トレーニングA「アドバンス体験学習」（隔年開講、本年度開講） ラボラトリー方式の体験学習を企画・実施するファシリテーターについて扱います。</p> <p>ファシリテーター・トレーニングB「トレーナー・トレーニング」（隔年開講、本年度は不開講） グループの人間観海を促進するファシリテーターについて学びます。Tグループやエンカウンター・グループなどの受講経験が必要となります。</p> <p>ファシリテーター・トレーニングC「ファシリテーター・ワークショップ」 参加型トレーニングや体験学習など、学習者が自ら学ぶ教育的アプローチについて、理論と実習から学んでいきます。ファシリテーター・トレーニングA及びBに比べ、基本的・入門的な内容を扱います。</p>
日程	2004年6月12日（土）、13日（日） 10:00～17:00
定員	30名
会場	南山大学 D棟
研修費	21,000円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）